

## 迷惑メール対策を強化

～2月1日より、MMSのメール送信数を制限～

ボーダフォン株式会社(本社:東京都港区、社長:津田志郎)は、インターネット接続サービス「ボーダフォンライブ!」を快適にご利用いただけるよう、迷惑メールへの対策を順次強化しています。今回、第3世代携帯電話(以下、3G)「Vodafone 902・802・702シリーズ」向けに提供している「ボーダフォンライブ!」のMMS<sup>※1</sup>において、同シリーズのボーダフォン携帯電話からの迷惑メール送信行為を予防するため、1台のボーダフォン携帯電話から24時間以内に1,000件以上の宛先にMMSを送信した場合、その後24時間MMSの送信を規制することとし、2月1日(火)より実施します。

ボーダフォンでは、2003年12月より第2世代携帯電話(以下、2G)のロングメール<sup>※2</sup>やスーパーメール<sup>※3</sup>、2004年3月より3GのVGSメール<sup>※4</sup>、同年11月より2Gのスカイメール<sup>※5</sup>において、送信数の制限を実施しています。今回、迷惑メール対策を強化するため、3GのMMSにおいても送信数の制限を導入します。

ボーダフォンでは、ボーダフォン携帯電話発の迷惑メールの情報を、お客さまセンターや迷惑メール申告窓口(Eメールでの申告のみ受付)を通じて収集しています。そして、お客さまから寄せられた情報により、ボーダフォン携帯電話から不特定多数のボーダフォン携帯電話への迷惑メールの送信行為が確認された契約者に対して、その契約者名義すべての回線について利用停止および契約解除の措置を実施するなど、引き続き迷惑メール対策に努めてまいります。

- ※1 Multimedia Messaging Service の略。Vodafone 902・802・702シリーズ向けに提供するメールサービス。ボーダフォン携帯電話同士はもちろん、他社携帯電話やパソコンとのEメールの送受信が可能で、文字メッセージと添付ファイルの合計で最大300Kバイトまで送受信可能。
- ※2 V4・V3・V1シリーズやJ-0xシリーズなど、2Gのボーダフォンライブ! 対応機向けに提供するメールサービス。ボーダフォン携帯電話同士はもちろん、他社携帯電話やパソコンとEメールの送受信が可能で、最大6Kバイト(全角3,000文字相当)のメッセージを送受信可能。
- ※3 V6シリーズやJ-5xシリーズなど、2Gのボーダフォンライブ! パケット対応機向けに提供するメールサービス。ボーダフォン携帯電話同士はもちろん、他社携帯電話やパソコンとEメールの送受信が可能で、最大30Kバイト(一部のJ-5xシリーズを除く)のメッセージを送受信可能。
- ※4 V8シリーズ(V801SA、V801SH)向けに提供するメールサービス。ボーダフォン携帯電話同士はもちろん、他社携帯電話やパソコンとEメールの送受信が可能で、文字メッセージと添付ファイルの合計で最大200Kバイトまで送受信可能。
- ※5 PDC方式のボーダフォン携帯電話同士で全角64文字までのメッセージが送受信できるメールサービス。オプションのEメールサービスにより他社携帯電話やパソコンとEメールの送受信も可能で、送信は最大全角64文字相当、受信は最大全角192文字相当まで可能。

以上

- スカイメールは、ボーダフォン株式会社の登録商標です。
- Vodafone および Vodafone live!(ボーダフォンライブ!)は、Vodafone Group Plc の登録商標または商標です。

<メールサービス別、送信数制限内容>

	メールサービス	対応機種	送信数制限内容	導入時期
3G	MMS	902・802・702シリーズ	24時間以内に1,000件以上の宛先に送信した場合、その後24時間規制	2005年2月
	VGSメール	V8シリーズ	3時間以内に120件以上の宛先に送信した場合、その後21時間規制	2004年3月
2G	スーパーメール	V6シリーズ J-5xシリーズ	3時間以内に120件以上の宛先に送信した場合、その後21時間規制	2003年12月
	ロングメール ロングEメール	V4・V3・V1シリーズ J-0xシリーズ	3時間以内に120件以上の宛先に送信した場合、その後21時間規制	2003年12月
	スカイメール スカイEメール	V6・V4・V3・V1シリーズ J-5x・J-0xシリーズ	1日に500通以上送信した場合、その後20日間規制	2004年11月